事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 ナチュール

		チェック項目	はい	どちらと も いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関 係で適切である	8				
	2	職員の配置数は適切である	8				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー 化の 配慮が適切になされている	2	4	1	トイレや洗面所が広く必要な際は、大人と一緒に介助しやすい。	玄関前に階段があるが手 すりがついている。児童が 転ばないよう必ず手を繋 いで昇降を行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	5	3		毎月管理者と面談を行っている。	3か月に1度振り返りの チェックシートを使用して いく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等により アンケート調査を実施して保護者等の意 向等を 把握し、業務改善につなげている	3	4	1		今回が初めてのアンケートとなった為今後継続的に 実施していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5	2	1		今後実施していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果 を業務改善につなげている	2	2	4		3月に開所した為現在は 行えていない。今後実施 予定。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の 機会を確保している	7	1	0		内部研修は毎月行っている。外部研修への参加は 現在はなし。必要に応じて 参加していく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、 標準化されたアセスメントツールを使用し ている	2	6			現在作成中。今後導入していく。
	11)	活動プログラムの立案をチームで行って いる	7	1			
適切な支援の提供	12)	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	8				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8				
	14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団 活動を適宜組み合わせて放課後等デイ サービス 計画を作成している	7	1			
	15)	支援開始前には職員間で必ず打合せを し、 その日行われた支援の内容や役割分担 に ついて確認している	7	1			

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行 い、 気付いた点等を共有している	2	6		必要なことや共 有すべきことは 共有ノートも活用 している。	
	17)	日々の支援に関して正しく記録をとること を 徹底し、支援の検証・改善につなげている	8				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	18)	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判 断 している	8				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組 み合 わせて支援を行っている	5	3			保護者、子ども間で支援 が入るとより良い関係に つながる場面に気付く。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	8				
	21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる 場合は、子どもの主治医等と連絡体制を 整えている	3	5			現在医療的ケアが必要なお子様をお預かりしていないが、主治医に気を付ける点等を親御さんを通して確認して適宜連携している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3	3	発達支援セン ターと連携してい る。	全ての児童には行っていない。必要に応じて適宜 連携していく。
	24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している					現在該当なし
	25)	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	6	1	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6	2			近くの児童館に行ってい る。
	27)	(地域自立支援)協議会等へ積極的に 参加している	1	3	4		地域での連絡会には参加していく予定。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	7	1			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等 の 支援を行っている	2	6			今後ペアレントトレーニン グの研修等に参加してい く
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っている	7	1			

保護者への説明責任等	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	7	1			
	32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している		3	4		保護者会を今後開催予定。
	33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している	7	1			
	34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	6	2		毎月活動予定表 を配布している。	
	35)	個人情報に十分注意している	8				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	3	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	1		7		大規模なイベントを実施し ていないため、今後検討・ 実施を目指している。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や 保護者に周知している	8				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	8				
非常	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を 確保する等、適切な対応をしている	8				
非常時等の対応	41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を 行うかについて、組織的に決定し、子ども や保護者に事前に十分に説明し了解を得 た上で、放課後等デイサービス計画に記 載している	4	4			
	42)	食物アレルギーのある子どもについて、 医師の指示書に基づく対応がされている	7	1			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	7	1			

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。